

事業所名： 飛鳥ともしび苑

作成日： 平成 22年 7月 2日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	アセスメント方法が確立しておらず、利用者の意向や想いがスタッフ間で共有できていない。	現場スタッフのアセスメントから計画作成担当者がケアプランを作成し、想いの共有に繋げる。	①センター方式を活用する。 ②担当職員中心に、現場スタッフもセンター方式アセスメントシートの作成に参加し、ケアプランに繋げる。	6ヶ月
2	11	夜間等、緊急時に主治医との連携が困難である。	利用者の心身状況を考慮した上で、主治医との連携方法を確立させる。	①緊急時の連絡方法等、主治医と相談する。 ②近隣の専門医との関係構築も模索する。	6ヶ月
3	33	現状、医療面でのケアに限界があり、看取りは出来ない。重度化や終末期に対する方針の話し合いもできていない。	ターミナルケアについて事業所全体で、議論の場を設ける。	①事業所全体で、重度化や終末期に対する方針について議論の場を設け、話し合いを重ねる。 ②現場スタッフに対して、医療面でのフォローアップ研修会や勉強会を開催する。	12ヶ月
4	2	地域資源を活かしきれていない。	事業所発信で、地域に存在を示していく。	①地域ボランティアを募集、活用する。 ②地域の行事に参加するだけでなく、グループホームに招待する機会を増やすなど、どんどん地域に事業所の存在を示す。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。